

【記入例】

改正フロン類法対応 推奨版

※赤い字の項目は必ず記載してください。記載がないと改正フロン類法に適合した書面になりません。

1 廃棄する機器の所有者等 〔青色の字〕

→A票に記入

- ・廃棄する機器の所有者等：全て
- ・取次者：氏名又は名称、住所、連絡先

2 取次者 〔茶色の字〕

→C票に記入

- ・取次者
担当者の部署名、氏名、フロン類の引渡し先にレ点、回付の年月日
- ・第一種フロン類充填回収業者
登録番号、登録都道府県、氏名又は名称、住所、連絡先

3 第一種フロン類充填回収業者 〔紫色の字〕

→E票に記入

- ・第一種フロン類充填回収業者
担当者の部署名、氏名、フロン類引取り終了した年月日、引取証明書交付の年月日、充填回収技術者氏名
- ・回収量等：該当項目全て

→F票に記入

- ・処理方法等：該当項目全て
- ・引渡し先：該当項目全て

代表者又は担当部署を統括する責任者の署名	<input type="checkbox"/> 機器整備・修理 (機器の整備・修理時に使用する場合は、左記にレ点を記入) 廃棄する機器の所有者等 (第一種特定製品廃棄等実施者) 機器所有者等の氏名又は名称 (株)青空商事 上記の住所 〒215-2212 ○○県青空市白雲町3-4-5 担当者 部署名 ○○部 氏名 青木 ○男 廃棄する機器がある施設(建物)名 青空ビル1階 上記の住所 〒215-2345 ○○県青空市宝町1-1-1 廃棄する機器の種類及び台数 エアコンディショナー 10台 冷蔵機器及び冷凍機器 50台 エアコンディショナー 解体(修繕等)あり 建物解体(含修繕・模様替え)の有無(下記該当に○印) 解体(修繕等)なし		伝票番号 0001234567 交付の年月日 2015年10月1日 電話 △△-1111-1111 F A X △△-1111-1112	伝票番号は任意項目 委託確認書を交付する日 廃棄する機器の所有者等の名称等及び住所 引取りを依頼するフロン類がある建物名及びその場所																																									
エアコンディショナー、人の冷暖房、冷蔵機器及び冷凍機器、物を冷却する機器	エアコンディショナー 10台 冷蔵機器及び冷凍機器 50台 フロン類の引渡し先 (右記該当に○印) <input type="checkbox"/> 第一種フロン類充填回収業者に直接依頼する (第一種フロン類充填回収業者欄に記入する) <input checked="" type="checkbox"/> 取次者に委託する (取次者欄に記入する)			C票を第一種フロン類充填回収業者に回付した日																																									
引渡し先にレ点	取次者 取次者の氏名又は名称 環境建設(株) 上記の住所 〒215-1234 ○○県清風市涼風2-1-1 担当者 部署名 △△部 氏名 大木 ○朗 フロン類の引渡し先(右記該当に○印) <input type="checkbox"/> 第一種フロン類充填回収業者に依頼する(第一種フロン類充填回収業者欄に記入する)		回付の年月日 2015年10月6日 電話 △△-3440-0011 F A X △△-3440-0033																																										
代表者又は担当部署を統括する責任者の署名	第一種フロン類充填回収業者 登録番号 567890 登録都道府県 ○○ 都道府県 第一種フロン類充填回収業者の氏名又は名称 (株)冷媒回収設備 上記の住所 〒215-4567 ○○県住良市大町5-5-5 担当者 部署名 ○○部 氏名 小林 △太		フロン類引取り終了の年月日 2015年10月12日 引取証明書交付の年月日 2015年10月13日 充填回収技術者氏名 回収 太郎 電話 △△-1111-1192 F A X △△-1111-2525	フロン類をボンベに回収完了した日 E票(引取証明書)を取次者へ交付した日 フロン類の回収の現場に立ち会った若しくは回収した十分な知見を有する充填回収技術者																																									
引渡し先にレ点	※平成27年3月31日以前にこの書式を使用する場合は、上記「第一種フロン類充填回収業者」を「第一種フロン類回収業者」と読み替える。			管理番号は任意項目																																									
第一種フロン類充填回収業者が都道府県知事から受けている登録番号を記入。都道府県のホームページ又は窓口で閲覧、確認できる	下記のとおりフロン類を回収しました。		管理番号 1234567890																																										
依頼をする第一種フロン類充填回収業者の名称等及び住所	<table border="1"> <thead> <tr> <th>フロン類の種類</th> <th>CFC</th> <th>HCFC</th> <th>HFC</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第一種特定製品の種類</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>エアコンディショナー</td> <td>台</td> <td>kg</td> <td>10台 300kg</td> <td>台</td> <td>kg</td> <td>10台 300kg</td> </tr> <tr> <td>冷蔵機器及び冷凍機器</td> <td>台</td> <td>kg</td> <td>台</td> <td>kg</td> <td>50台 60kg</td> <td>50台 60kg</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>台</td> <td>kg</td> <td>10台 300kg</td> <td>50台 60kg</td> <td>60台 60kg</td> <td>60台 360kg</td> </tr> <tr> <td>銘板に記載されている充填量(判る範囲で記入する)</td> <td>台</td> <td>kg</td> <td>10台 330kg</td> <td>50台 65kg</td> <td>60台 395kg</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		フロン類の種類	CFC	HCFC	HFC	計	第一種特定製品の種類					エアコンディショナー	台	kg	10台 300kg	台	kg	10台 300kg	冷蔵機器及び冷凍機器	台	kg	台	kg	50台 60kg	50台 60kg	計	台	kg	10台 300kg	50台 60kg	60台 60kg	60台 360kg	銘板に記載されている充填量(判る範囲で記入する)	台	kg	10台 330kg	50台 65kg	60台 395kg		回収できなかった要因 フロン類が回収できなかった場合の台数及び要因 1台 要因: 室外機コンデンサー腐食による穴あき	管理番号は任意項目 実際に回収した冷媒の種類と量及び機器の種類と台数			
フロン類の種類	CFC	HCFC	HFC	計																																									
第一種特定製品の種類																																													
エアコンディショナー	台	kg	10台 300kg	台	kg	10台 300kg																																							
冷蔵機器及び冷凍機器	台	kg	台	kg	50台 60kg	50台 60kg																																							
計	台	kg	10台 300kg	50台 60kg	60台 60kg	60台 360kg																																							
銘板に記載されている充填量(判る範囲で記入する)	台	kg	10台 330kg	50台 65kg	60台 395kg																																								
代表者又は担当部署を統括する責任者の署名	回収したフロン類の処理方法等			回収できなかった要因を判り易く記入																																									
処理方法について1~5のいずれかに○印し、引渡し先及び冷媒番号ごとに、置及びその冷媒番号を記入	<table border="1"> <thead> <tr> <th>フロン類の引渡し先等 (該当する番号を○で囲む)</th> <th>CFC</th> <th>HCFC</th> <th>HFC</th> <th>左記の冷媒番号</th> <th>容器識別番号</th> <th>フロン類再生・破壊管理票の伝票番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1:破壊業者(※1) 1 2 3 4 5</td> <td>kg</td> <td>150kg</td> <td>kg</td> <td>R 22</td> <td>A0001、A0002、A0003</td> <td>1234000</td> </tr> <tr> <td>2:再生業者(※1) 1 2 3 4 5</td> <td>kg</td> <td>150kg</td> <td>kg</td> <td>R 22</td> <td>A0004、A0005、A0006</td> <td>1234001</td> </tr> <tr> <td>3:自ら再生(※2) 1 2 3 4 5</td> <td>kg</td> <td>kg</td> <td>60kg</td> <td>R 404A</td> <td>A0007</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4:法46条1の例外による業者(※3) 1 2 3 4 5</td> <td>kg</td> <td>kg</td> <td>kg</td> <td>R</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5:保管 1 2 3 4 5</td> <td>kg</td> <td>kg</td> <td>kg</td> <td>R</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		フロン類の引渡し先等 (該当する番号を○で囲む)	CFC	HCFC	HFC	左記の冷媒番号	容器識別番号	フロン類再生・破壊管理票の伝票番号	1:破壊業者(※1) 1 2 3 4 5	kg	150kg	kg	R 22	A0001、A0002、A0003	1234000	2:再生業者(※1) 1 2 3 4 5	kg	150kg	kg	R 22	A0004、A0005、A0006	1234001	3:自ら再生(※2) 1 2 3 4 5	kg	kg	60kg	R 404A	A0007		4:法46条1の例外による業者(※3) 1 2 3 4 5	kg	kg	kg	R			5:保管 1 2 3 4 5	kg	kg	kg	R			別表「フロン類再生・破壊管理票」を使用する場合は、その伝票番号も記入 容器識別番号を記入
フロン類の引渡し先等 (該当する番号を○で囲む)	CFC	HCFC	HFC	左記の冷媒番号	容器識別番号	フロン類再生・破壊管理票の伝票番号																																							
1:破壊業者(※1) 1 2 3 4 5	kg	150kg	kg	R 22	A0001、A0002、A0003	1234000																																							
2:再生業者(※1) 1 2 3 4 5	kg	150kg	kg	R 22	A0004、A0005、A0006	1234001																																							
3:自ら再生(※2) 1 2 3 4 5	kg	kg	60kg	R 404A	A0007																																								
4:法46条1の例外による業者(※3) 1 2 3 4 5	kg	kg	kg	R																																									
5:保管 1 2 3 4 5	kg	kg	kg	R																																									
引渡し先業者が複数いる場合は、F票をコピーして使用	※1 上記の1:破壊業者 2:再生業者 を選択し、別表「フロン類再生・破壊管理票」を使用する場合は、容器識別番号及びX票の伝票番号を必ず記入する。 ※2 平成27年3月31日以前にこの書式を使用する場合は、「自ら再生」を「自ら再利用」と読み替える。 ※3 平成27年3月31日以前にこの書式を使用する場合は、「法46条1の例外による業者」を「省令7条による業者」と読み替える。			処理を依頼する引渡し先を○で囲む 回収したフロン類の処理を依頼する引渡し先の住所及び名称等																																									
引渡し先業者が複数いる場合は、F票をコピーして使用	引渡し先(※4) 右記の内、該当する引渡し先の番号を○で囲む (平成27年3月31日までの読み替えは、上記の※2~3に準じます) → 1:破壊業者 2:再生業者 3:自ら再生したフロン類の充填先 4:法46条1の例外による業者 都道府県 ○東京 (都)道 府 県 住所 〒105-xxxx 東京都港区○○○123-45 許可・認定番号 123456789 氏名又は名称 (株)フロン破壊再生 電話 03-xxxx-1111 自ら再生した場合は再生した年月日(※5) 2015年10月16日 フロン類引渡し又は充填を終了した年月日 2015年10月20日 F A X 03-xxxx-2222		回収したフロン類を処理先へ引き渡した日(自ら再生した冷媒を充填した場合は、その充填した日)																																										
フロン類の引渡し先業者の許可または登録を受けた都道府県及び許可・認定番号を記入	※4 引渡し先が複数ある場合は、F票をコピーして使用する。 ※5 引渡し先を「3:自ら再生」とした場合のみ記入する。																																												